

 **教師用手引き**

【中学校総合的な学習の時間における活用案(先賢)】
「ふるさとみやざきを愛した人々 中学校第2学年」における活用について

～ 基本的な考え方 ～

「総合的な学習の時間」における「ひむか学」ホームページの活用例を示すものである。下記は「ふるさとみやざきを愛した人々」から、「若山牧水」における例示であるが、各学校の実態に応じた構成を行い、展開できるものとして示している。ねらいは次のとおりである。

- ・生徒が宮崎県や地域社会の一員としての自覚をもち、郷土を愛し、宮崎県や地域社会に貢献しようとする心をはぐくむことができる。
- ・先賢の精神を学ぶことで、自己の生き方を見つめるとともに、自分に対する自信をもつことができる。

各学校で地域情報を共有する取組を進める。

学習の流れは、【生きる力を育む学習指導－指導事例集(中学校編)－<第1章>総合的な学習の時間の指導「地域や学校の特色に応じた課題 指導事例『みやざき』の偉人～若山牧水～第2学年」平成14年3月宮崎県教育委員会】による。

学習の流れ	
導入	1. オリエンテーション
	・宮崎の先賢についての概要をつかむ。
展開	2. コンテンツを開き、各先賢の生き様の概要を知り、自分が調べたい先賢を決める。
	・先賢を探究する課題を設定し、学習計画を立てる。



「ひむか学」ホームページの活用例	
ページ	活用とねらい
先賢の中から数例	
導入ページ	・12名の先賢を提供していることを知る。
安井息軒、高木兼寛、後藤勇吉ほか	
	・12名の先賢の概要を知り、調べ学習の対象としての先賢を決める。

展 開	3. コンテンツを活用して学習を深める。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画に沿って調査・探究・創作活動を行う。 ・ 文献、資料館などを活用し、牧水の生き方をまとめる。 ・ 短歌をつくる ・ 短歌に曲をつける。
	4. 学習したことをまとめ、発表の準備をする。
終 末 ・ 発 展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 牧水の生き方をまとめ、自作の短歌を載せるホームページ等を作成する。 ・ 成果をまとめ、発表の準備を行う。
	5. 発表をする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーション等を活用し、文化祭や地域の産業文化祭で発表する。



若山牧水	
<p>どんなことをした人なんだろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疑問や調べてみたいことを書き出し、学習課題に練り上げ、学習の見通しをもつ。
<p>どんな人だったんだろう</p> <p>もっとくわしく知りたい人は</p> <p>リンク集</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先賢の業績や生き様に触れ、自分の生き方を見つめ直す。 ・ 先賢の精神を学び、自分の生き方に生かす。 ・ 先賢に関する地域の資料館を訪ねたり、地域の人に聞いたりすることをおして自分を見つめ直したり、自分の生き方に生かしたりする。 ・ 「みやざきの百一人」などのリンク集の活用で、地域の先賢を調べる活動に発展させ、地域のよさを知る。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表することをおして、自信をもたせ、コミュニケーションの力を高める。 ・ 文化祭や地域の産業文化祭で発表する活動をおして、地域の方々との交流を深める。 ・ 「生き方を考える」のテーマでフォーラムを開くなど、意見交流の場を工夫する。
